

日本鼻科学会会誌投稿規定

2006年12月改訂

1. 本誌は、(1)鼻科学領域に関連のある、他誌に発表されていない論文と、(2)基礎問題研究会、臨床問題懇話会、シンポジウムで発表された論文またはその記録を掲載する。本誌1号は学術講演会記録号として(2)を中心に掲載する。ただし期限内に原稿未着の場合には抄録号掲載の抄録を再掲載することもある。
2. 本誌への投稿者は共著者も含めて原則として日本鼻科学会会員に限る。ただし日本耳鼻咽喉科学会会員以外で、本会に入会(準会員)の意志のない者は、2000円の投稿料を納めることにより当該論文の共著者になることができる。
3. 掲載された論文の著作権は日本鼻科学会に属する。
4. 原稿は和文または英文とする。
5. 投稿に際しては執筆要項に従う。
6. 投稿原稿は日本鼻科学会理事会(常任理事会を含む)の委託する複数の査読者による査読を受ける。掲載の可否は同編集委員会においてされる。
7. 投稿規定に記載した以外に関わる事項についてはその都度日本鼻科学会理事会において協議する。
8. 原稿送付先 108-0074 東京都港区高輪2-14-14-707
「日本鼻科学会会誌編集委員会」まで書留便(または郵送記録の残るもの)で送付のこと。
9. 論文受理の段階で、最終的に訂正された原稿データ(本文:Word, 図表:jpg, ppt, excelなど)を併せて編集委員会へ提出のこと。

執筆要項

1. 本文，英文抄録，図表各 3 部を日本鼻科学会事務所に書留便で郵送する。本文のうち 2 部はコピーも可，写真は 3 部ともオリジナルとする。またカラー写真を希望する場合は自己負担とする。
2. 原著論文は刷りあがり 6 頁までを原則とする（刷りあがり 1 頁は 2 2 5 0 字に相当する）。それを越える分は投稿者負担とする。ただし，投稿規定 1 の(用)の記録は 2 頁以内とする。
3. 用紙は A4 縦の白紙に横書き，文字数は 1 頁 8 0 0 字を原則とし，行間をひろくとする。各頁下にページ数を必ず記載すること。
4. 原稿第 1 頁目には標題(略語を用いない)，英文タイトル，著者名(ふりがなつき)，所属機関名，5 語以内の日本語キーワード，希望別刷数（3 0 部までは無料），著者連絡先を明記する。
5. 原稿第 2 頁目は英文抄録。英文抄録は 4 0 0 語以内とし，タイトル，著者名，施設名，5 語以内の英文の keywords，本文の順に記載する。英文論文の場合も英文抄録が必要である。抄録末尾に語数を記載すること。抄録は native speaker による check を受けたものを原則とする。
6. 表，図の挿入箇所を原稿用紙右端に指示すること。
7. 文献は引用順に番号を付して配列し，引用箇所の右肩に 1) のように文献番号をつける。
8. 引用文献の記載は下記の形式による。

原著の場合

著者名：題名．雑誌名（和文誌は各雑誌略記，欧文誌は Index Medicus による）
発行年（西暦）；巻数：頁（初めの頁-終りの頁）．

例 木村恭之，古川 侃，上出文博，他：嗅粘膜障害に対するステロイド点鼻療法の有用性に関する実験的研究．日耳鼻 1989；92：1869-75．

Matsunaga T, Yamamoto H, Akioka K, et al :Clinical study on bacteria in the upper lower respiratory tracts in patients with sinobronchial syndrome. Rhinology 1989;27:169-78.

単行本の場合

著者：題名．編集者名， 書籍名， 発行社名， 発行地， 発行年度（西暦），初めの頁-終りの頁

例 坂倉康夫：ヒト鼻腔粘液線毛機能：熊沢忠躬，野村恭也編：鼻科学臨床所見の定量化．金原出版，東京，1984，78-124頁

Bang FB, Bang BG:Mucous membrane injury and repair. In Brain JD, Proctor DF, Reid LM (ed) Part1, Mercel Dekker, New York, 1977, pp453-488

なお，共著者多数の場合，著者の数は3名までとし，それ以上の場合は欧文では et al, 邦文では他を用いて省略する。